

## 2016年度 写真部門 受賞者一覧

### ■独立行政法人国際協力機構理事長賞

氏名	都道府県	所属	タイトル	取り上げた国・地域	作品を通して伝えたいこと
川戸 太陽	東京都	グローバルインディアンインターナショナルスクール	ドービー・ガートで生きる人々	インド(ムンバイ)	2回目のインド旅行で訪れたドービー・ガート。ムンバイにある、インド最大、いや、世界最大の洗濯場。洗濯を職業とする人々(カースト)のことをドービーという。母いわく、20年前と比べて変わったのは、遠くに見える高層ビルだけだそう。インドは発展し続けているのに、ドービーの人たちの生活は何も変わっていないことに、僕は衝撃を受けた。

### ■独立行政法人国際協力機構地球ひろば所長賞

氏名	都道府県	所属	タイトル	取り上げた国・地域	作品を通して伝えたいこと
山岡 智互	滋賀県	アイ・シー・ネット株式会社	未来輝く	ミャンマー(ヤンゴン管区)	最近、民主化が進み話題の多いミャンマーですが、JICAの支援もあり教育改革も徐々に進んでいます。長年、ミャンマーの教育協力を携わる者として、近年のポジティブな変化は、とても嬉しく思います。輝く未来に向かって、今のミャンマーの子どもたちの様子を基礎教育データと共に紹介し、日本との違いを考えて貰えるきっかけになればと思い、応募させていただきました。

### ■審査員特別賞

氏名	都道府県	所属	タイトル	取り上げた国・地域	作品を通して伝えたいこと
Bangladesh Education Support Association (BESS)	愛知県	(団体応募)	貧困な国 Bangladesh の暮らしと働く子どもたち	Bangladesh	Bangladesh は大変貧しい国であるが、田舎やスラム街になるとさらに貧しく、識字率も約20~30%である。子どもたちは学校に行かず労働力に使われてしまうことも大変多い。学校に行かないと収入の良い職業にもつげず、貧困の悪循環が続き過酷な生活を強いられている。子どもたちは自分に人権があることにも気付いていない。貧困、不衛生、児童労働など問題の多い Bangladesh の現実を写真を通して日本の子どもや大人たちに知ってもらい、どうしたら解決できるかや、私たちは何をしなければならないかなどを考えるきっかけになればと思う。

中澤 暢雄	富山県	氷見市立南部中学校	アंकロンの子供達の夢 ~ゴミ捨て場の学校から~	インドネシア(ジャカルタ首都特別州)	国際理解教育に取り組むようになり、次第に一つの疑問が大きくなっていきました。それは、貧しい生活を送る人達は不幸なのか？豊かな生活は彼らを本当に幸せにするのか？ということでした。ジャカルタの日本人学校に勤めていたとき、在留邦人の仲間と貧困地域の学校を支援する活動に取り組みました。ジャカルタはアジア有数の大都市ですが、その片隅でゴミを集めて生計を立てている人々の村が無数にあります。そして、そこに住む子供達は、物乞い等をしながら生活をしています。写真の村では現地人のボランティアが青空学校を開いており、美術教員の私はある日、その学校の粘土コンテストに審査員として招かれました。粘土の作品もさることながら、コンテストのセレモニーで披露された伝統楽器の演奏が素晴らしく、演奏の場を設けることで、モノやお金に頼らない継続した支援ができるのでは、と考えました。その後、日本人学校での演奏会を皮切りに、ジャカルタ日本祭(在インドネシア日本国大使館協力)への出演、ミュージシャン知久寿焼との共演等、様々な発表の場を設け、彼らの演奏も磨きがかかっていきました。2年後、私は帰国しましたが、彼らは活動を続け、今年7月には、とうとうスシ海洋大臣という政府要人の前で演奏する機会を得たとの便りが届きました。しかし、彼らは今も、あのゴミ捨て場の中で暮らしています。貧困から抜け出すことは容易ではありませんが、彼らは自力でそこから這い上がろうと夢をもって生きています。貧しくとも夢のある暮らしと、豊かでも夢のない暮らし。アंकロンの子供達が、この疑問に答えてくれた気がしています。
-------	-----	-----------	--------------------------	--------------------	---

## ■入選

氏名	都道府県	所属	タイトル	取り上げた国・地域	作品を通して伝えたいこと
新山 智基	兵庫県	神戸国際大学	ブルーリ潰瘍という病気を知っていますか？	ガーナ、トーゴ、ベナン	世界にはまだまだ知られていない感染症、保健医療の実態がたくさんあります。私は出身大学での活動を通じて、ブルーリ潰瘍という病気を知ることができました。顧みられない熱帯病のひとつであるこの病気は、アフリカで多く確認されていますが、決して十分な取り組みが行われているとはいえません。本作品を通じて、病気のこと、アフリカの保健医療の状況を少しでも伝えられることができればと思います。
角田 直也	岡山県	岡山県立岡山聾学校	マラウイの子どもたち	マラウイ	世界最貧民国のマラウイ。豊かな自然が多いが、少ないお金や物で生活している。それだからと言って、幸せでないかと言ったら間違いである。子ども達の笑顔が溢れ、穏やかな生活を送っている。たくさんの人に囲まれて、たくさんの笑顔に囲まれて生活している子たちには、どうしようもない問題がある。そんなことも知ってもらいたいと願っている。
鳥取県立鳥取西高等学校	鳥取県	(団体応募)	私たちに出来る国際貢献とは	ケニア(ナイロビ)、日本(鳥取県智頭町)	どこか遠くの国の誰かではなく、顔を思い浮かべられる「あの子」を思うこと、「自分たちに何が出来るか」「逆に自分たちは何を得るか」を懸命に考えて、手を足を動かして、その活動自体を楽しみながら続けていくこと、それが私たちの国際貢献です

## ■佳作

氏名	都道府県	所属	タイトル	取り上げた国・地域	作品を通して伝えたいこと
田口 峰子	秋田県		日本になく、ルワンダの高校授業にあるもの	ルワンダ	ルワンダでは高校まで進学する生徒の割合は低い。優秀な生徒が集まるという全寮制の高校では、生徒が熱心に授業に臨んでいた。環境面の不備はあり、教科書が個人所有ではない、黒板消しがないなど、日本からすると不便に感じられる点はある。しかし、彼らは授業中に顔を上げて真剣に教員や級友の発言を聞いている。母国語ではない英語での説明を聞き、板書内容を丁寧にノートに書き写している。学びから逃走している今の日本の高校生にはない真摯さが伝わってきた。
藤本 大輝	東京都		僕たちの毎日	ウガンダ(ラカイ)	貧困な地域の人々は、「恵まれていない」「不幸せ」「かわいそう」というイメージをウガンダに行くまで私は持っていました。しかし貧困な地域の人たちも毎日笑顔で生活しているのを見て考え方が変わりました。日本でもウガンダでも、大変なこと楽しいことがいっぱいあるんだと思ってほしいです。みんな、おんなじなんだなって思ってもらいたいです。
藤戸 美妃	大阪府	関西学院千里国際高等部	興味津々の裏—タンザニア連合共和国—	タンザニア(アルーシャ)	多くのタンザニア国民は 好奇心旺盛で、何事にも興味津々だった。カメラや色鉛筆、全く人種の異なる私の手、ファーストエイドの講習、、、例を挙げるときりがないが、この国民の興味津々の裏にある事実を知ると、彼らのSOSを感じた。深刻な寄生虫感染を患っていたり、親がいなかったり、まともな遊び道具もなく、「死」と隣あわせに生きていたり、、、苦しんでいるところはほとんど見せないが、その写真の境遇や奥を読むと、彼らがどれだけ本当は苦しんでいて、我々に助けを求めているのかが分かる。この作品を通じて、決して見逃してはいけない、彼らの興味津々の裏にある“助けて”の一声を伝えたい。
茶谷 春奈	兵庫県	大阪教育大学	ウガンダの日常	ウガンダ(ワキソ県・ラカイ県)	①これがウガンダの“当たり前”の生活。日本とは全然違うけど、人の温かさやゆったり流れる時間は、心に大きな幸福感をもたらしてくれる。貧しいとか裕福とかで幸せは比べられない。 ②生まれる場所は選べないのに、たまたまそこに生まれてしまったからという理由で自由や希望、人権などが保障されていない人は、気づかれていないだけでたくさんいる。自分が幸せならいいという考え方を世界からなくしたい。
今井 元子	愛媛県		HIV/AIDS予防への取り組み	マラウイ	HIVの感染率が約10%とまだ高いマラウイ。新規感染を予防するために、どんな啓発・教育が人々に届くのか。試行錯誤しながら、さまざまな活動を行うボランティアの姿を通して、自分たちにも何かできることがある点を伝えたい。

## ■協賛社特別賞

氏名	都道府県	所属	タイトル	取り上げた国・地域	作品を通して伝えたいこと
山岡 智互	滋賀県	アイ・シー・ネット株式会社	未来輝く	ミャンマー(ヤンゴン管区)	最近、民主化が進み話題の多いミャンマーですが、JICAの支援もあり教育改革も徐々に進んでいます。長年、ミャンマーの教育協力に携わる者として、近年のポジティブな変化は、とても嬉しく思います。輝く未来に向かって、今のミャンマーの子どもたちの様子を基礎教育データと共に紹介し、日本との違いを考えて貰えるきっかけになればと思い、応募させていただきました。